

ABTEC 2012 砥粒加工学会学術講演会報告書

修士2年 鳥海一馬

8月31日に同志社大学京田辺キャンパスで行われた、ABTEC2012 砥粒加工学会に参加させていただきました。この度は学術講演会ということで様々な研究のお話を聞くことができました。

同志社大学はとても広く、山の上にたっていました。私は光・ビームによる加工技術の講演を聞いたのですが、京都工芸繊維大学や埼玉大学等の昨年ABTECに参加した時もみた大学が参加されていました。少しでもしっかりした格好のほうが良いと考え、スーツの上着とネクタイをつけて行きました。しかし、上着を着ているのは極少数で、講演者の先生の中にはネクタイもしていないクールビズな格好の人もありました。ネクタイはまだしも上着は不要だったと思います。

私は「細管から同軸出射されるレーザ光と液体を利用した穴あけ」という題目で発表させていただきました。昨年も発表していることもあり、落ち着いて発表できました。また、質問も加工原理の部分が多く、わかりやすく答えられ、質問された先生も納得されていたと思います。また、他の大学の発表では、微細軸の加工と山崎君とやっていることが近い研究や、同じシグマ光機のステージ、ドライバを用いて制御をしていたり、埼玉大学の光ファイバの加工が今後の私の研究の役に立ちそうだったり、他の研究がとても身近に感じられ、とても勉強になりました。他の発表を聞いて一つ思ったのは、初めて聞く発表で話すスピードが早すぎたり、パワーポイントにデータが多過ぎたりすると、理解が追いつかないと感じました。

最後に、本学会の参加の機会を与えてくださるとともに、準備において多くのご指導を頂いた森田先生、比田井先生、松坂先生、斎藤さんに厚く御礼申し上げます。また、準備に協力していただいた5分野の皆様にも感謝の意を示したいと思います。ありがとうございました。



講演会場前にて